

2013年2月28日

各 位

JXホールディングス株式会社

第44回JX-ENEOS童話賞の作品募集について

当社（東京都千代田区大手町二丁目、社長：松下功夫）は、毎年「心のふれあい」をテーマに、広く一般の方々からオリジナル童話作品を募集し優秀作品を選出しています。このたび、第44回JX-ENEOS童話賞^(注)の作品について、明日3月1日（金）より下記のとおり募集することとしましたので、お知らせいたします。

(注) 2013年3月1日より、「JX童話賞」は「JX-ENEOS童話賞」に名称変更いたします。

記

1. 主 催： JXホールディングス株式会社（運営：JX日鉱日石エネルギー株式会社）
2. 後 援： 全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会
3. 募集内容：
 - (1) 「心のふれあい」をテーマとした創作童話。作品は未発表の完全にオリジナルな作品に限ります。
 - (2) 市販の400字原稿用紙5枚以内（表紙を除く）。ワープロ原稿は20字×20行のタテ書き。
4. 応募資格： アマチュアに限ります。合作、共作などをご応募いただけません。
5. 応募区分と賞：
 - (1) 応募区分 一般の部／中学生の部／小学生以下の部
 - (2) 賞
 - <一般の部>

最優秀賞	1編	賞状、賞金100万円、記念品
優秀賞	2編	賞状、賞金 30万円、記念品
佳作	5編	賞状、賞金 10万円、記念品
奨励賞	5編	賞状
 - <中学生の部>

最優秀賞	1編	賞状、賞品（10万円相当の図書カード）、記念品
優秀賞	2編	賞状、賞品（ 5万円相当の図書カード）、記念品
佳作	2編	賞状、賞品（ 3万円相当の図書カード）、記念品
奨励賞	5編	賞状

<小学生以下の部>

最優秀賞	1編	賞状、賞品（10万円相当の図書カード）、記念品
優秀賞	2編	賞状、賞品（5万円相当の図書カード）、記念品
佳作	2編	賞状、賞品（3万円相当の図書カード）、記念品
奨励賞	5編	賞状

6. 応募方法： 郵送とインターネットの2通りがあります。

※作品を受付け後、郵送の場合は受領ハガキ、インターネット応募の場合は受領電子メールをお送りいたします。

(1) 郵送での応募

原稿の上に、下記の必要事項を記入した用紙を重ね、右上を綴じてください。

<必要事項>

郵便番号・住所・氏名（中学生の部および小学生以下の部の応募者は保護者の氏名を併記）・年齢・性別・職業（学生の方は2013年5月31日時点での学年）・電話番号・作品名・応募区分。

<送付先>

〒100-8692

日本郵便（株） 銀座郵便局 私書箱 610号「JX-ENEOS童話賞R係」

※応募作品は返却いたしません。コピー送付のご要望にはお応えできませんので、ご了承ください。

(2) インターネットでの応募

インターネット上の規定のフォームにて受付。

<童話の花束ホームページ： <http://www.jx-group.co.jp/hanataba/>>

7. 締め切り： 2013年5月31日（金）（郵送は当日消印有効）

8. 発表： 2013年10月中旬予定（詳しくはホームページをご確認ください）

最優秀賞・優秀賞・佳作および奨励賞を受賞された方々については、郵便による通知とホームページ上での発表をいたします。なお、落選された方には個別の連絡はいたしませんので、ご了承ください。

9. お問合せ先： JX日鉱日石エネルギー株式会社 JX-ENEOS童話賞係

フリーダイヤル 0120-56-8704（ENEOSお客様センター）

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00（土・日・祝日、年末年始を除く）

10. 選考：

西本鶏介（児童文学者）／立原えりか（童話作家）／角野栄子（童話作家）／

中井貴恵（女優・エッセイスト）／JX-ENEOS童話賞選考委員会

11. 著作権の帰属等：

入賞作品の著作権・出版権（映像化権含む）・その他の利用権は、いずれもJXホールディングス株式会社に帰属するものとします。

最優秀賞・優秀賞・佳作は、入賞作品集「童話の花束（その44）」に収録します。

あわせて、最優秀賞・優秀賞・佳作受賞者の方々には、2013年11月に開催予定の授賞式にご出席いただきます。選考内容に関するお問合せはご遠慮ください。応募者全員に「童話の花束（その44）」を1冊進呈いたします。

12. 個人情報の取り扱い：

本童話賞にご応募いただいた方の個人情報は、受領ならびに選考結果発表、「童話の花束」の発送、次回以降の募集案内以外の目的には利用いたしません。

※個人情報取り扱いの委託：個人情報に関する秘密保持契約を締結している業務委託企業に対して、個人情報の取り扱いを委託します。

以上

（ご参考）

前回（第43回）の作品応募総数：13,213編

（一般の部：10,195編、中学生の部：1,244編、小学生以下の部：1,774編）



授賞式の様子（第43回）

J X-E N E O S 童話賞作品集「童話の花束」およびJ X-E N E O S 童話基金について

1. J Xグループは、毎年「心のふれあい」をテーマに一般の方からオリジナルの創作童話を募集し、優秀作品を表彰のうえ、一冊の童話集「童話の花束」として発行しています。
2. この「童話の花束」は、J Xグループ各社やE N E O Sのサービスステーションを運営する特約店およびL Pガスの特約店、東京善意銀行を通じて、全国の社会福祉施設、小学校などに寄贈されるとともに、東日本大震災の被災地に約5万冊寄贈されています。
3. また、J Xグループ各社や特約店にご購入いただいた「童話の花束」のすべての売上金は、「J X-E N E O S 童話基金」に組み入れるとともに、同基金から、毎年、児童福祉の一助として、社会福祉法人全国社会福祉協議会（以下、全社協）に寄付を行っています。2012年度は、3,000万円を寄付しました。
4. この寄付金は、全社協が設立した「J X-E N E O S 奨学助成制度」により、児童養護施設、母子生活支援施設および里親家庭の子どもたちが、大学や専門学校などに進学する際の入学支度金の一部として活用されます。2011年度は、301名の子どもたちが受給しました。
5. 加えて、2012年度は同基金から、東日本大震災で特に被害が大きかった、岩手・宮城・福島3県の「教育・子育て」に関する基金等に対して、合計900万円（1件あたり300万円）を寄付しました。この寄付金は、被災地の子どもたちの教育・子育てに役立てられています。
6. なお、「童話の花束」に使用する製紙原料には、J Xグループが森林整備に取り組んでいる地域の間伐材が活用されています。間伐などの森林整備により、木々の生育が健全となることから、国内の二酸化炭素吸収量の拡大に貢献しています。J Xグループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。

以上